

第2次幹線市道整備10か年計画について

1. 第2次整備計画策定にあたっての基本的な考え方

(1) 現在施工中の路線の取扱いについて

現在施工中の路線で、本年度末までに完成できない12路線については、第2次整備計画に引き継ぐこととし、継続して整備します。

(2) 整備路線の選定について

第2次整備計画の整備路線については、選定対象路線について、整備の必要性和実現性の観点を中心に評価し、その結果に基づき選定します。

2. 整備路線の評価について

整備路線の評価については、第1次整備計画未着手路線(18路線)と第1次整備計画策定後に陳情等があった路線(18路線)を選定対象路線とし、整備の必要性和実現性の観点を基軸に、100点満点で行いました。

そして、それぞれの評価結果を基に、各路線をA評価:3路線、B⁺評価:8路線、B評価:13路線、C評価:12路線に区分しました。

3. 第2次幹線市道整備10か年計画について

(1) 計画期間について

平成30年度から平成39年度

(2) 第2次整備計画における整備路線

① 継続路線

現在施工中の路線で、平成29年度末までに完成できない12路線は、継続路線として第2次整備計画に引き継ぐこととし、計画期間前半での完成を目指します。

② 整備路線

A評価(3路線)とB⁺評価(8路線)の11路線は、整備路線に位置付け、可能な限り早期に事業に着手します。

③ 整備候補路線

B評価の13路線は、整備候補路線に位置付け、事業全体の進捗状況を見ながら、第1次整備計画からの継続性や市政を推進する上での重要度等を踏まえて路線を選択し、整備を進めます。

なお、上記①～③の各路線の詳細については、資料1及び資料2のとおりです。

(3) 事業費及び財源について

第2次整備計画の総事業費は、近年の市の道路整備予算や、国交付金の配分の動向から類推して、約80億円を見込んでいます。

整備にあたっての財源は、次のものを有効に活用します。

- ① 社会資本整備総合交付金 (交付率 55%)
- ② 道整備推進交付金 (交付率 50%)
- ③ 過疎対策事業債
- ④ 辺地対策事業債

(4) 休止路線の取扱いについて

一部の区間を残し休止状態となっている4路線は、用地取得ができるよう交渉を重ね、完成を目指します。

[松寄下浜線(1工区)・長浜326号線・船津所原線・植松浜線]

4. 参考

第1次整備計画の進捗状況(平成29年度末見込み)

- (1) 計画路線 61路線
 - 完了路線 27路線
 - 整備中路線 12路線
 - (計 39路線)
 - 未着手路線 18路線
 - 休止路線 4路線

- (2) 10年間の事業費 約75億円

第2次整備計画における整備路線

区分	路線名	地域	整備内容
① 継続路線	松寄下浜線(2工区)	出雲	幅員9.75m(2車線+片側歩道)の道路改良
	高松8号線		幅員9.75m(2車線+片側歩道)の道路改良
	神西61号線		幅員9.25m(2車線+片側歩道)の道路改良
	中筋浜線	平田	幅員10.75m(2車線+片側歩道)の道路改良
	城川石場線	佐田	幅員4.00m(1車線)の道路改良
	才谷毛津線(3工区)		幅員5.00m(1車線)の道路改良
	大西新線(3工区)	多伎	幅員9.25m(2車線+片側歩道)の道路改良
	柳谷田儀駅前線		幅員5.0m、長さ12.3mの橋梁の架け替え
	板津線	湖陵	幅員9.25m(2車線+片側歩道)の道路改良
	下遥堪22号・菱根35号線	大社	幅員5.00m(1車線)の道路改良
	学頭大竹線	斐川	幅員7.00m(2車線)の道路改良
上庄原北筋線	1車線道路の歩道整備		
12路線	概算事業費 : 21億円		

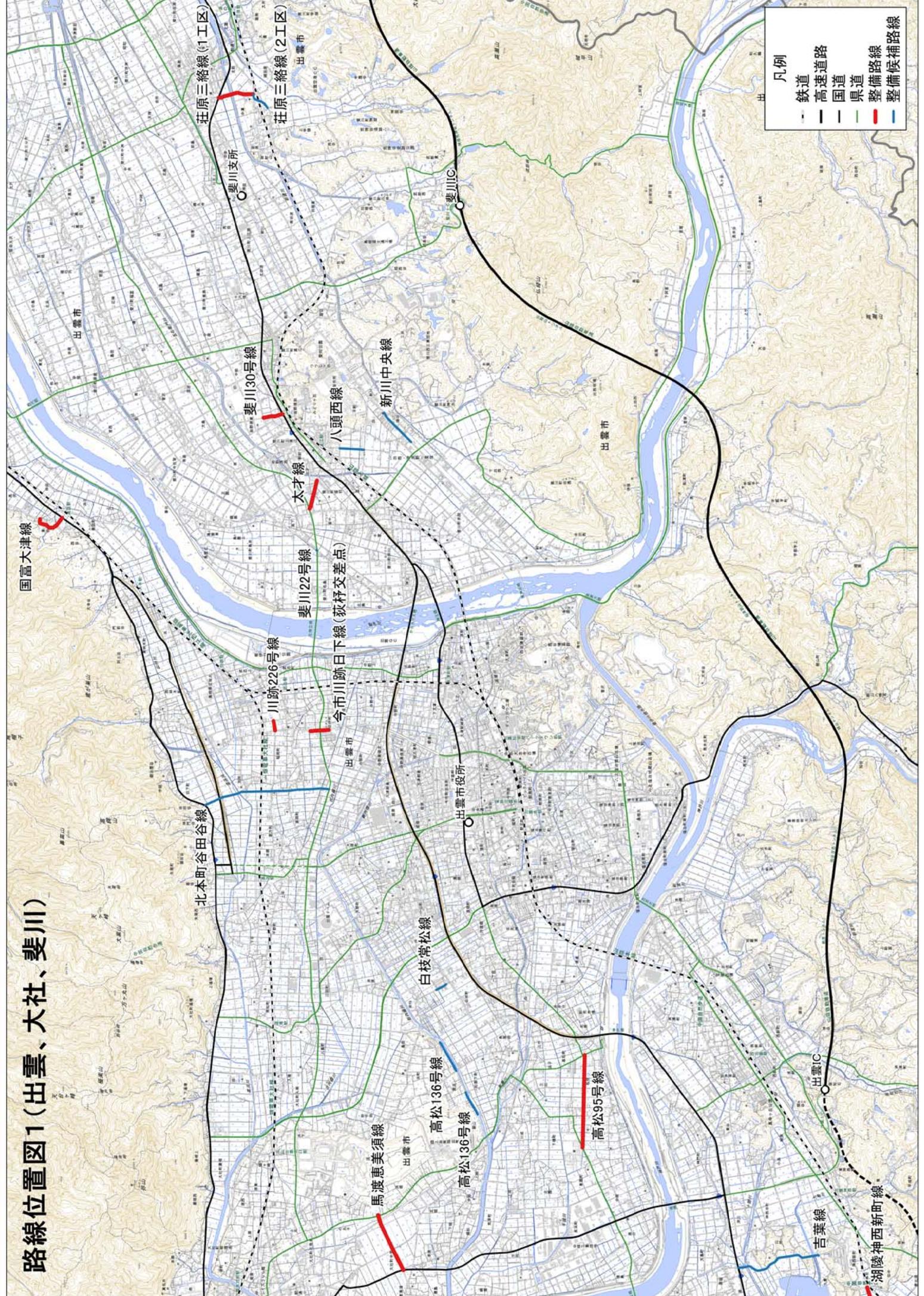
区分	路線名	地域	整備内容
② 整備路線	今市川跡日下線	出雲	通勤時間帯の渋滞が顕著な荻杵交差点に、渋滞対策として、右折レーン延伸などの改良を行います。
	川跡226号線		今市川跡日下線から北陽小学校までの通学路に、安全対策として、歩道及び交差点の溜り場を整備します。
	高松95号線		国道9号神戸橋北方交差点付近から出雲農林高校前までを、東西幹線道路として、通学路の安全対策を含め、道路拡幅及び歩道を整備します。
	伊野本線	平田	野郷町金森から地合町東地合までの区間について、生活道路及び原子力災害時の避難路として、道路を拡幅します。
	国富大津線		一畑電鉄美談駅北の国道431号から450m区間に、国富小学校通学路の安全対策として、歩道を整備します。
	井手上新線	多伎	多伎小学校西の道路について、多伎IC(仮称)のアクセス道として、通学路の安全対策を含め、道路拡幅及び歩道を整備します。
	湖陵神西新町線	湖陵	神西湖南に位置する東西幹線道路であり、出雲IC及び湖陵IC(仮称)のアクセス道として、道路を拡幅します。
	馬渡恵美須線	大社	大社高校付近の県道大社立久恵線から国道431号までの交通量が多い区間に、安全対策として、歩道を整備します。
	太才線	斐川	斐川学校給食センター付近から県道斐川出雲大社線までの西野小学校通学路に、安全対策として、歩道を整備します。
	斐川30号線		斐川西中学校南の市道斐川731号から国道9号までの通学路に、安全対策として、歩道を整備します。
	荘原三絡線(1工区)		荘原小学校から国道9号までの通学路で、幅員が狭く通行に支障があるため、道路拡幅及び歩道を整備します。
11路線	概算事業費 : 37億円		

第2次整備計画における整備候補路線

区分	路線名	地域	整備内容
③ 整備候補路線 13路線	吉葉線	出雲	神西湖東に位置する南北の幹線道路であり、出雲西消防署、神西湖へのアクセス向上のため、道路拡幅及び歩道を整備します。
	高松136号線		新内藤川右岸道路のうち暫定形で供用している区間について、道路拡幅及び歩道を整備します。
	北本町谷田谷線		出雲体育館から北に延伸する道路で、このうち県道斐川出雲大社線から国道431号までの区間を南北幹線として、道路及び歩道を新設します。
	白枝常松線		国道9号白枝北交差点から北へ延びる道路で、未整備となっている110m間について、道路拡幅及び歩道を整備します。
	庄部線	平田	坂浦町庄部地内の迂回路の無い道路であり、災害時の通行確保のため、道路を拡幅します。
	金森三の谷線		野郷町金森地内の生活道路で、幅員が狭く急勾配であるため、道路を拡幅します。
	美野本線		国道431号から伊野本線までの区間で、国道431号の迂回路としても機能する伊野地区の幹線道路として、道路拡幅及び歩道を整備します。
	城川御幡線	佐田	栗原大橋付近の国道184号から630m間に、国道184号の迂回路としても機能する生活道路として、道路を拡幅します。
	反辺本郷線		県道三刀屋佐田線から目田森林公園入口付近までの区間に、公園利用者と沿線住民の利便性向上のため、道路を拡幅します。
	新川中央線	斐川	斐川地域の東西幹線道路で、歩道の無い区間(伊藤製材所から斐川新川簡易郵便局)に、安全対策として、歩道を整備します。
	八頭西線(仮称)		JR直江駅南の住宅団地周辺で、通行の安全対策として、住宅団地内から南へ延伸する道路を新設します。
	斐川22号線		県道斐川出雲大社線と鋭角で交差している交差点に、安全対策として、右折レーン設置を含めた改良を行います。
	荘原三絡線(2工区)		荘原小学校南の通学路で、安全対策として、歩道を整備します。

※ 上記13路線は、事業全体の進捗状況を見ながら、第1次整備計画からの継続性や市政を推進する上での重要度等を踏まえて、整備を進めます。

路線位置図1(出雲、大社、斐川)



凡例

—	鉄道
—	高速道路
—	国道
—	県道
—	整備路線
—	整備候補路線

路線位置図2(平田)



伊野本線(金森東地合工区)

庄部線

金森三ノ谷線

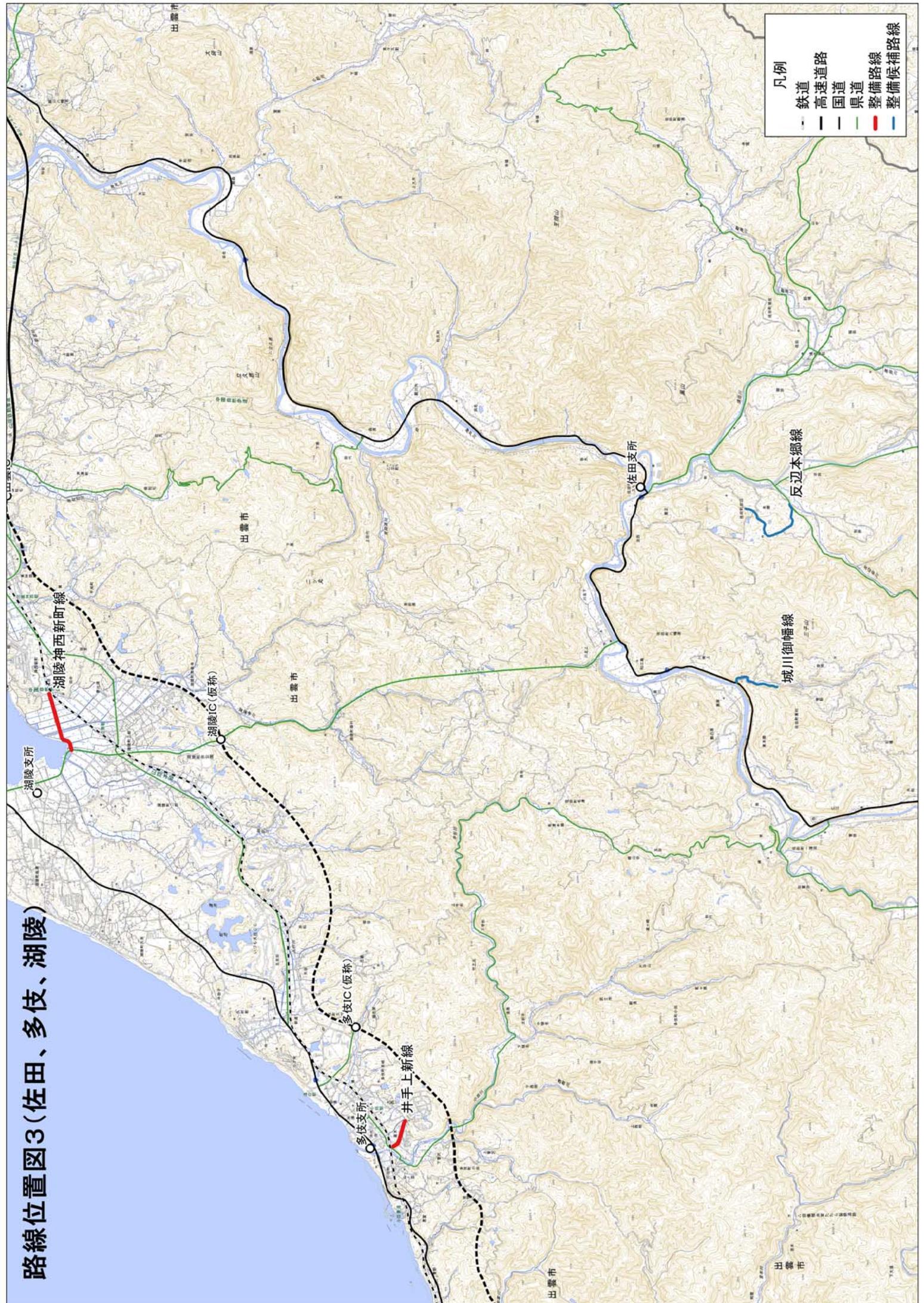
美野本線

平田支所

国富大津線

- 凡例
- 鉄道
 - 高速道路
 - 国道
 - 県道
 - 整備路線
 - 整備候補路線

路線位置図3(佐田、多伎、湖陵)



- 凡例
- 鉄道
 - 高速道路
 - 国道
 - 県道
 - 整備路線
 - 整備候補路線

佐田支所

反辺本郷線

城川御幡線

出雲市

湖陵(C(仮称))

出雲市

多伎(C(仮称))

井手上新線

多伎支所

出雲市

出雲市

出雲市